

県内企業景況調査結果

[2023年1～3月期実績、2023年4～6月期見通し]

沖縄振興開発金融公庫 調査部発表

— 県内景況は、回復の動きが広がる —

調査結果のポイント

1. 業況判断 D.I.

実績（1～3月期）：「好転」超幅がほぼ横這いとなり、4期連続のプラス

[前期 18.8%ポイント（以下、単位省略）⇒当期 20.2]

- ・引き続き人手不足や原材料高等の影響があるも、観光需要の高まりにより観光関連産業を中心に、業況回復の動きが広がる

見通し（4～6月期）：来期は「好転」超幅がやや拡大の見通し（来期 22.9）

- ・人手不足や原材料高等の影響に加え、エネルギー価格上昇の影響が懸念されるも、観光需要は高まるとみられ、プラス維持の見込み

2. 景況天気

実績：☀️（晴れ）→☀️（晴れ）（前期 12.1⇒当期 15.7）

小売業で☀️（快晴）→☀️（晴れ）

建設業で☁️（曇り）→☁️（薄曇り）

飲食店・宿泊業で引き続き☀️（快晴）

卸売業、運輸業、サービス業で引き続き☀️（晴れ）

製造業で引き続き☁️（薄曇り）、情報通信業で引き続き☁️（曇り）

見通し：☀️（晴れ）となる見通し（来期 18.4）

小売業で☀️（晴れ）→☀️（快晴）

製造業で☁️（薄曇り）→☀️（晴れ）

情報通信業で☁️（曇り）→☁️（薄曇り）

飲食店・宿泊業で引き続き☀️（快晴）

卸売業、運輸業、サービス業で引き続き☀️（晴れ）

建設業で引き続き☁️（薄曇り）

3. 売上 D.I.

実績：「増加」超幅がほぼ横這い（同 24.5⇒同 25.0）

見通し：「増加」超幅がやや拡大（同 29.2）

4. 採算水準 D.I.

実績：「黒字」超幅がやや拡大（同 14.8⇒同 19.6）

見通し：「黒字」超幅がやや拡大（同 24.4）

5. 資金繰り D.I.

実績：「苦しい」超から「楽」超へ転じる（同△3.0⇒同 2.4）

見通し：「楽」超幅がほぼ横這い（同 1.5）

沖縄振興開発金融公庫 調査部

[調査内容についてのお問い合わせ先]

調査部 金融経済調査課（担当：新里）

沖縄県那覇市おもろまち1-2-26

電話：070-7893-6597 FAX：098-941-1920

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
		(A)	(B)	(B)/(A)×100
全産業		375	332	88.5
製造業		68	61	89.7
建設業		68	64	94.1
卸売業		48	45	93.8
小売業		48	39	81.3
運輸業		36	31	86.1
情報通信業		23	21	91.3
サービス業		46	41	89.1
飲食店・宿泊業		35	27	77.1

※全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し、自計記入を求める方法による。

5. 調査対象期間

当期 … 2023年1～3月期実績 来期 … 2023年4～6月期見通し

6. 調査実施期間

2023年2月下旬～2023年3月下旬
(発送：2023年2月24日、回収基準日：2023年3月10日)

7. 用語説明等

- (1) 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- (2) D. I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- (3) 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD. I. を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

II. 調査結果

1. 業況判断

— 当期は「好転」超幅がほぼ横這いとなり、4期連続のプラス
来期は「好転」超幅がやや拡大の見通し —

(1) [2023年1~3月期実績]

自社の業況を総合的に判断する業況判断D. I. は、20.2%ポイント（以下、単位省略）と、「好転」超幅がほぼ横這いとなった。

業種別にみると、卸売業で「好転」超幅が大幅に縮小、小売業、サービス業で「好転」超幅が縮小となったものの、情報通信業で「悪化」超から「好転」超に転じ、飲食店・宿泊業で「好転」超幅が大幅に拡大、建設業で「悪化」超から「保合い」となり、製造業で「好転」超幅がほぼ横這い、運輸業で「好転」超幅が横這いとなった。

(2) [2023年4~6月期見通し]

来期の業況判断D. I. は22.9と、「好転」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、情報通信業で「好転」超から「悪化」超へ転じ、飲食店・宿泊業で「好転」超幅が大幅に縮小となるものの、建設業で「保合い」から「好転」超となり、卸売業、運輸業で「好転」超幅が拡大、小売業で「好転」超幅がやや拡大、製造業、サービス業で「好転」超幅が横這いの見通しとなっている。

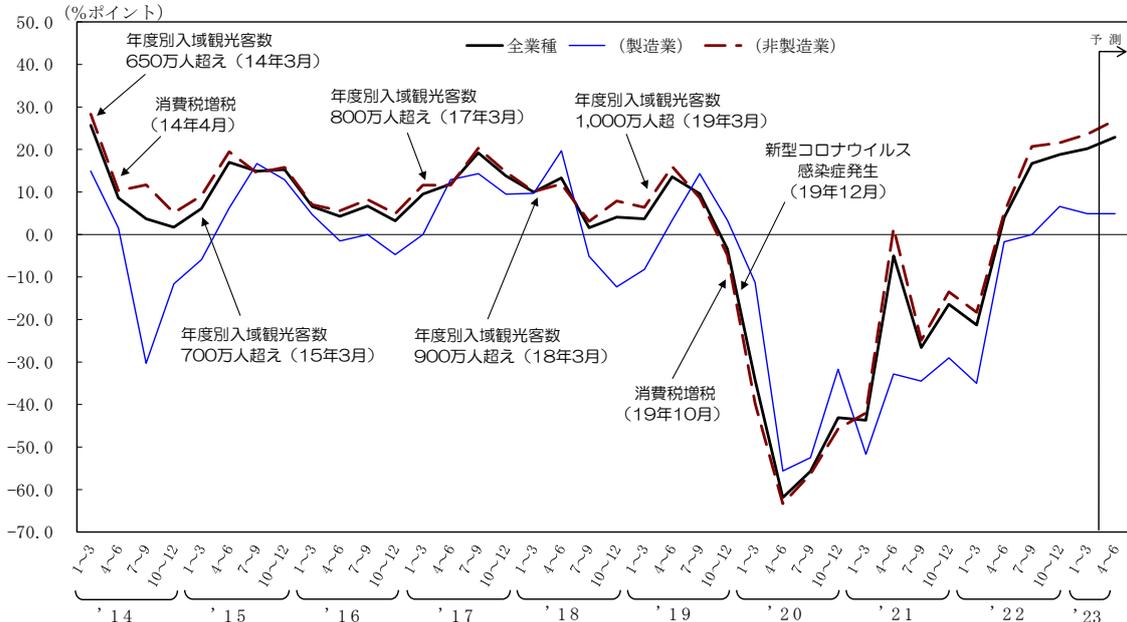
図表1-1. 業況判断D.I.

参考: 業況判断D. I. (前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2022年				2023年			
		10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 前回実績	1~3月期 前回見通し	4~6月期 今回実績	7~9月期 今回見通し
全産業	D. I. (①-②)	△ 16.4	△ 21.3	4.0	16.7	18.8	(20.9)	20.2	22.9
	① 好転(%)	18.8	15.0	29.9	35.5	40.3	(38.8)	39.5	38.6
	不変(%)	46.1	48.6	44.2	45.7	38.2	(43.3)	41.3	45.8
	② 悪化(%)	35.1	36.3	25.9	18.8	21.5	(17.9)	19.3	15.7
製造業		△ 29.0	△ 35.0	△ 1.7	0.0	6.6	(6.6)	4.9	4.9
建設業		△ 21.0	△ 24.6	△ 27.9	△ 18.0	△ 18.8	(△9.4)	0.0	10.9
卸売業		△ 25.6	△ 29.5	△ 17.1	28.3	26.1	(34.8)	13.3	20.0
小売業		△ 7.5	△ 20.5	12.8	34.1	35.0	(30.0)	25.6	28.2
運輸業		△ 5.9	△ 21.9	27.3	32.3	35.5	(41.9)	35.5	45.2
情報通信業		19.0	△ 5.0	△ 9.5	△ 9.5	△ 10.5	(0.0)	4.8	△ 4.8
サービス業		△ 9.8	△ 16.3	9.8	24.4	33.3	(25.6)	26.8	26.8
飲食店・宿泊業		△ 23.3	0.0	72.4	81.5	74.1	(66.7)	88.9	74.1

図表1-2. 業況判断D. I. の推移



2. 景況天気

— 当期は3期連続の「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し —

(1) [2023年1~3月期実績]

当期の県内企業の動向を全産業ベースで見ると、資金繰りD. I. ($\Delta 3.0 \rightarrow 2.4$)で「苦しい」超から「楽」超へ転じ、採算水準D. I. ($14.8 \rightarrow 19.6$)で「黒字」超幅がやや拡大、売上D. I. ($24.5 \rightarrow 25.0$)で「増加」超幅がほぼ横這いとなったことから、景況天気 ($12.1 \rightarrow 15.7$)は「晴れ」となった。

業種別にみると、小売業で「快晴」から「晴れ」となったものの、建設業で「曇り」から「薄曇り」、飲食店・宿泊業で引き続き「快晴」、卸売業、運輸業、サービス業で引き続き「晴れ」、製造業で引き続き「薄曇り」、情報通信業で引き続き「曇り」となった。

(2) [2023年4~6月期見通し]

来期の見通しは、売上D. I. (29.2)で「増加」超幅がやや拡大、採算水準D. I. (24.4)で「黒字」超幅がやや拡大、資金繰りD. I. (1.5)で「楽」超幅がほぼ横這いとなることから、景況天気 (18.4)は「晴れ」の見通しとなっている。

業種別にみると、小売業で「晴れ」から「快晴」、製造業で「薄曇り」から「晴れ」、情報通信業で「曇り」から「薄曇り」となり、飲食店・宿泊業で引き続き「快晴」、卸売業、運輸業、サービス業で引き続き「晴れ」、建設業で引き続き「薄曇り」の見通しとなっている。

図表2-1. 景況天気図

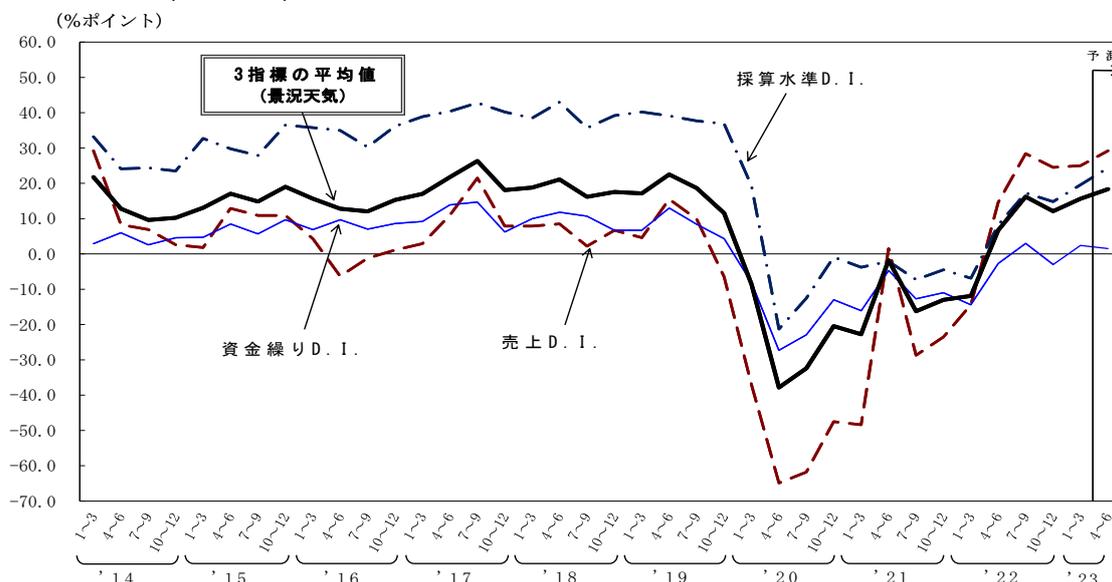
参考: 景況天気 (売上、採算水準、資金繰りD. I. の平均値)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年		2022年				2023年	
		10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 前回実績	1~3月期 前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業		☁ $\Delta 13.0$	☁ $\Delta 11.9$	☁ 6.7	☀ 16.2	☀ 12.1	☀ (11.5)	☀ 15.7	☀ 18.4
製造業		☁ $\Delta 21.5$	☁ $\Delta 19.4$	☁ 5.0	☀ 12.0	☁ $\Delta 1.1$	☁ (2.7)	☁ 8.7	☀ 10.9
建設業		☁ $\Delta 8.1$	☁ $\Delta 1.1$	☁ $\Delta 6.0$	☁ $\Delta 7.1$	☁ $\Delta 10.9$	☁ ($\Delta 7.3$)	☁ $\Delta 2.1$	☁ 4.7
卸売業		☁ $\Delta 5.4$	☁ 1.5	☀ 10.6	☀ 24.6	☀ 18.8	☀ (24.6)	☀ 17.8	☀ 23.7
小売業		☁ $\Delta 9.2$	☁ $\Delta 17.1$	☁ 6.8	☀ 32.5	☀ 36.7	☀ (28.3)	☀ 29.9	☀ 31.6
運輸業		☁ $\Delta 9.8$	☁ $\Delta 26.0$	☀ 16.2	☀ 20.4	☀ 16.1	☀ (18.3)	☀ 24.7	☀ 19.4
情報通信業		☁ 3.2	☁ $\Delta 1.7$	☁ $\Delta 3.2$	☁ $\Delta 1.6$	☁ $\Delta 10.5$	☁ ($\Delta 3.5$)	☁ $\Delta 7.9$	☁ 3.2
サービス業		☁ $\Delta 13.8$	☁ $\Delta 16.3$	☀ 15.4	☀ 23.6	☀ 23.9	☀ (18.8)	☀ 22.8	☀ 22.8
飲食店・宿泊業		☀ $\Delta 38.9$	☀ $\Delta 20.8$	☀ 12.6	☀ 34.6	☀ 39.5	☀ (17.3)	☀ 43.2	☀ 40.7

☀ 快晴 — 30以上~100以下 ☀ 晴 — 10以上~30未満 ☁ 薄曇り — $\Delta 5$ 以上~10未満
 ☁ 曇り — $\Delta 30$ 以上~ $\Delta 5$ 未満 ☔ 雨 — $\Delta 100$ 以上~ $\Delta 30$ 未満

図表2-2. 売上、採算水準、資金繰りD. I. の推移 (全業種)



3. 売上

— 当期は「増加」超幅がほぼ横這い、
来期は「増加」超幅がやや拡大の見通し —

(1) [2023年1～3月期実績]

当期の売上D. I. は25.0と、「増加」超幅がほぼ横這いとなった。

業種別にみると、情報通信業で「保合い」から「減少」超となり、卸売業で「増加」超幅が大幅に縮小、小売業、サービス業で「増加」超幅がやや縮小となったものの、製造業で「増加」超幅が拡大、運輸業、飲食店・宿泊業で「増加」超幅がやや拡大、建設業で「減少」超幅が縮小となった。

(2) [2023年4～6月期見通し]

来期の売上D. I. は29.2と、「増加」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「増加」超幅が大幅に縮小、製造業で「増加」超幅がやや縮小となるものの、卸売業で「増加」超幅が大幅に拡大、小売業で「増加」超幅が拡大、サービス業で「増加」超幅がやや拡大、情報通信業で「減少」超から「保合い」となり、建設業で「減少」超幅が縮小、運輸業で「増加」超幅が横這いの見通しとなっている。

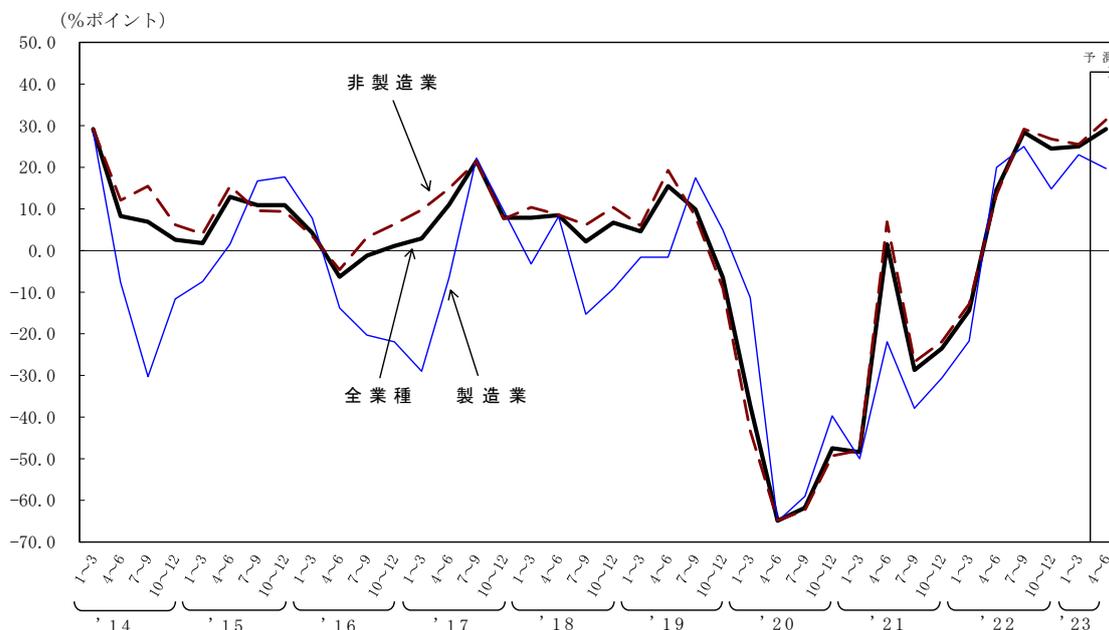
図表3-1. 売上D.I.

参考: 売上D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

区分	2021年				2022年		2023年	
	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 前回実績	1～3月期 前回見通し	4～6月期 今回見通し	
全産業 D. I. (①—②)	△ 23.5	△ 14.4	14.6	28.4	24.5	(25.8)	25.0	29.2
① 増加(%)	25.0	27.0	43.9	52.2	49.7	(46.1)	51.8	47.9
不変(%)	26.5	31.5	26.8	23.9	25.2	(33.6)	21.4	33.4
② 減少(%)	48.5	41.4	29.3	23.9	25.2	(20.3)	26.8	18.7
製造業	△ 30.6	△ 21.7	20.0	25.0	14.8	(23.0)	23.0	19.7
建設業	△ 41.9	△ 24.6	△ 37.7	△ 27.9	△ 21.9	(△25.0)	△ 14.1	△ 6.3
卸売業	△ 23.3	2.3	7.3	30.4	28.3	(34.8)	17.8	33.3
小売業	△ 20.0	△ 23.1	10.3	41.5	47.5	(50.0)	43.6	48.7
運輸業	5.9	△ 15.6	36.4	51.6	38.7	(48.4)	41.9	41.9
情報通信業	0.0	△ 25.0	4.8	14.3	0.0	(△5.3)	△ 14.3	0.0
サービス業	△ 26.8	△ 14.0	36.6	43.9	43.6	(43.6)	41.5	46.3
飲食店・宿泊業	△ 23.3	9.4	79.3	96.3	85.2	(66.7)	88.9	77.8

図表3-2. 売上D. I. の推移



4. 採算水準

— 当期は「黒字」超幅がやや拡大、来期は「黒字」超幅がやや拡大の見通し —

(1) [2023年1～3月期実績]

当期の採算水準D. I.は19.6と、「黒字」超幅がやや拡大となった。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「黒字」超から「保合い」となり、小売業で「黒字」超幅が大幅に縮小となったものの、建設業で「赤字」超から「黒字」超に転じ、運輸業で「黒字」超幅が大幅に拡大、製造業、卸売業、サービス業で「黒字」超幅がやや拡大、情報通信業で「赤字」超から「保合い」となった。

(2) [2023年4～6月期見通し]

来期の採算水準D. I.は24.4と、「黒字」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、運輸業で「黒字」超幅が縮小となるものの、情報通信業、飲食店・宿泊業で「保合い」から「黒字」超となり、建設業で「黒字」超幅が拡大、小売業、サービス業で「黒字」超幅がやや拡大、製造業で「黒字」超幅がほぼ横這い、卸売業で「黒字」超幅が横這いの見通しとなっている。

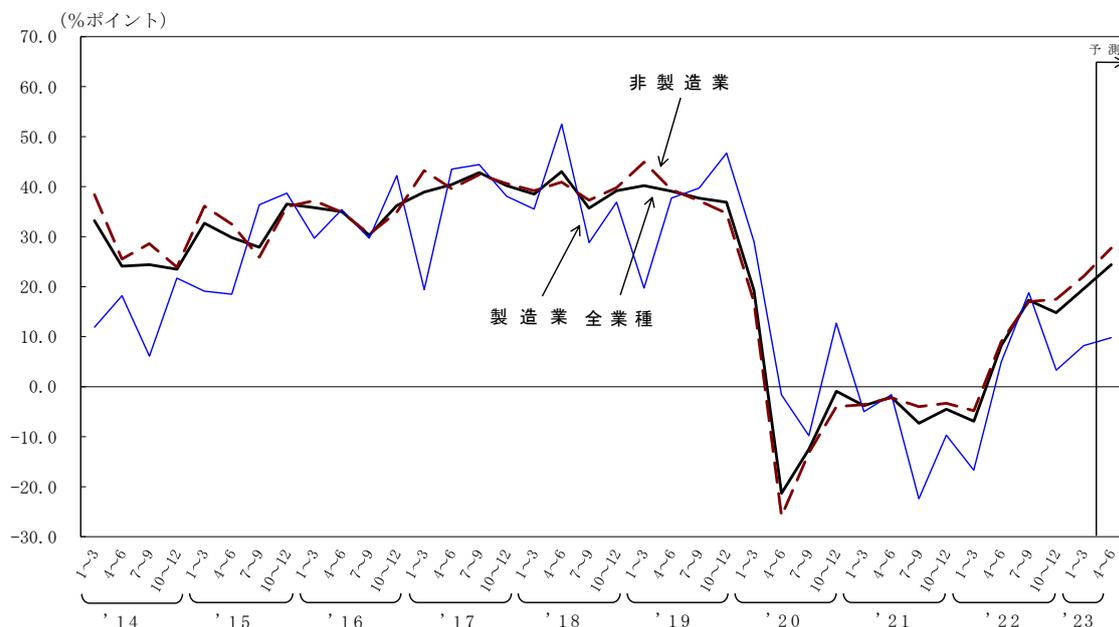
図表4-1. 採算水準D.I.

参考:採算水準D. I. (当期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年		2022年				2023年		
		10～12月期		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期		1～3月期	4～6月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し	
全産業	D. I. (①-②)	△ 4.5	△ 6.9	8.2	17.3	14.8	(12.1)	19.6	24.4	
	① 黒字(%)	29.2	29.4	33.5	39.7	37.6	(33.3)	39.5	38.9	
	トト(%)	37.2	34.2	41.2	37.9	39.7	(45.5)	40.7	46.7	
	② 赤字(%)	33.6	36.3	25.3	22.4	22.7	(21.2)	19.9	14.5	
	製造業	△ 9.7	△ 16.7	5.0	18.8	3.3	(△4.9)	8.2	9.8	
	建設業	16.1	23.0	23.0	8.2	△ 1.6	(9.4)	14.1	23.4	
	卸売業	14.0	13.6	26.8	45.7	39.1	(50.0)	42.2	42.2	
	小売業	5.0	△ 10.3	7.7	31.7	47.5	(30.0)	33.3	35.9	
	運輸業	△ 26.5	△ 34.4	15.2	12.9	6.5	(3.2)	19.4	12.9	
	情報通信業	14.3	35.0	0.0	△ 9.5	△ 15.8	(10.5)	0.0	9.5	
	サービス業	△ 12.2	△ 20.9	4.9	17.1	23.1	(12.8)	26.8	29.3	
	飲食店・宿泊業	△ 60.0	△ 56.3	△ 44.8	△ 14.8	3.7	(△29.6)	0.0	25.9	

図表4-2. 採算水準D. I.の推移



5-1. 資金繰り

— 当期は「苦しい」超から「楽」超へ転じ、 来期は「楽」超幅がほぼ横這いの見通し —

(1) [2023年1～3月期実績]

当期の資金繰りD. I.は2.4と、「苦しい」超から「楽」超へ転じた。

業種別にみると、サービス業で「楽」超から「保合い」となり、小売業で「楽」超幅がやや縮小したものの、飲食店・宿泊業で「楽」超幅が大幅に拡大、運輸業で「楽」超幅が拡大、製造業で「苦しい」超幅が大幅に縮小、情報通信業で「苦しい」超幅が縮小、建設業、卸売業で「苦しい」超幅がやや縮小となった。

(2) [2023年4～6月期見通し]

来期の資金繰りD. I.は1.5と、「楽」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

業種別にみると、サービス業で「保合い」から「苦しい」超となり、飲食店・宿泊業で「楽」超幅が大幅に縮小、運輸業で「楽」超幅が縮小、小売業で「楽」超幅がやや縮小となるものの、製造業で「苦しい」超から「楽」超に転じ、情報通信業で「苦しい」超から「保合い」となり、建設業、卸売業で「苦しい」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

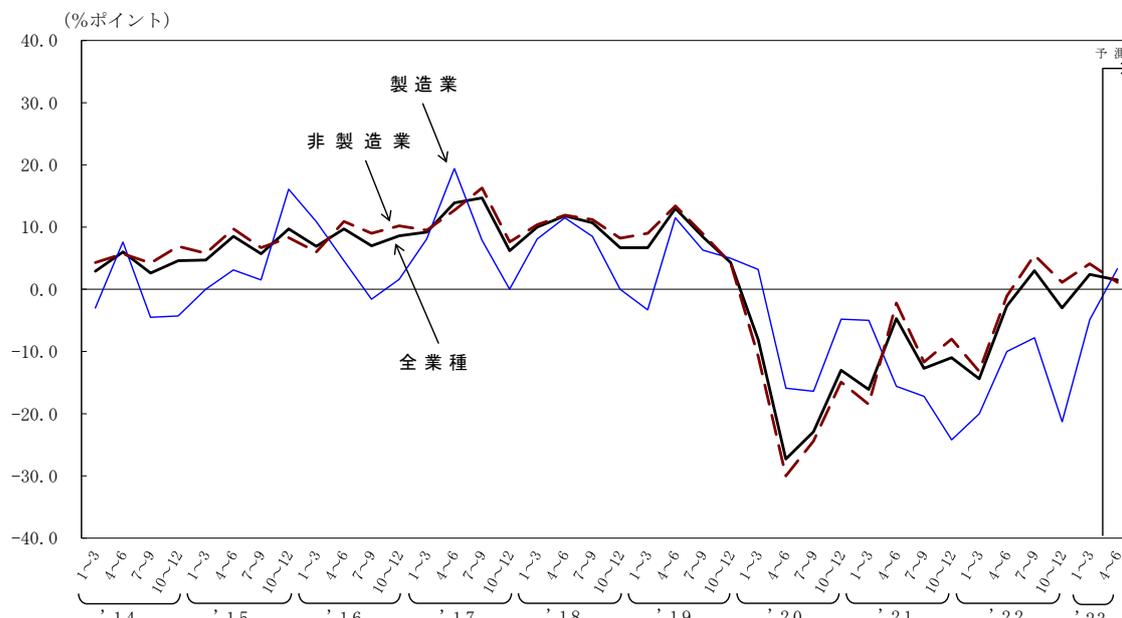
図表5-1-1. 資金繰りD.I.

参考:資金繰りD.I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年				2022年				2023年					
		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期	
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し						
全産業 D.I. (①-②)		△ 11.0	△ 14.4	△ 2.7	3.0	△ 3.0	(△3.3)	2.4	1.5						
① 楽 (%)		6.0	3.3	6.7	13.1	9.4	(7.3)	13.0	11.7						
不変 (%)		77.1	79.0	83.8	76.7	78.2	(82.1)	76.5	78.0						
② 苦しい (%)		17.0	17.7	9.5	10.1	12.4	(10.6)	10.5	10.2						
製造業		△ 24.2	△ 20.0	△ 10.0	△ 7.8	△ 21.3	(△9.8)	△ 4.9	3.3						
建設業		1.6	△ 1.6	△ 3.3	△ 1.6	△ 9.4	(△6.3)	△ 6.3	△ 3.1						
卸売業		△ 7.0	△ 11.4	△ 2.4	△ 2.2	△ 10.9	(△10.9)	△ 6.7	△ 4.4						
小売業		△ 12.5	△ 17.9	2.6	24.4	15.0	(5.0)	12.8	10.3						
運輸業		△ 8.8	△ 28.1	△ 3.0	△ 3.2	3.2	(3.2)	12.9	3.2						
情報通信業		△ 4.8	△ 15.0	△ 14.3	△ 9.5	△ 15.8	(△15.8)	△ 9.5	0.0						
サービス業		△ 2.4	△ 14.0	4.9	9.8	5.1	(0.0)	0.0	△ 7.3						
飲食店・宿泊業		△ 33.3	△ 15.6	3.4	22.2	29.6	(14.8)	40.7	18.5						

図表5-1-2. 資金繰りD.I.の推移



5-2. 借入難易

— 当期は「保合い」から「容易」超となり、 来期は「容易」超幅がほぼ横這いの見通し —

(1) [2023年1～3月期実績]

当期の民間金融機関からの借入難易D. I. は1.8と、「保合い」から「容易」超となった。業種別にみると、卸売業、情報通信業で「容易」超から「保合い」となり、製造業で「困難」超幅が横這いとなったものの、サービス業で「困難」超から「容易」超に転じ、小売業で「保合い」から「容易」超となり、建設業で「容易」超幅がやや拡大、運輸業、飲食店・宿泊業で「困難」超から「保合い」となった。

(2) [2023年4～6月期見通し]

来期の借入難易D. I. は0.6と、「容易」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。業種別にみると、製造業で「困難」超幅がほぼ横這い、建設業、小売業で「容易」超幅がやや縮小、サービス業で「容易」超幅が横這い、卸売業、運輸業、情報通信業、飲食店・宿泊業で引き続き「保合い」となる見通しとなっている。

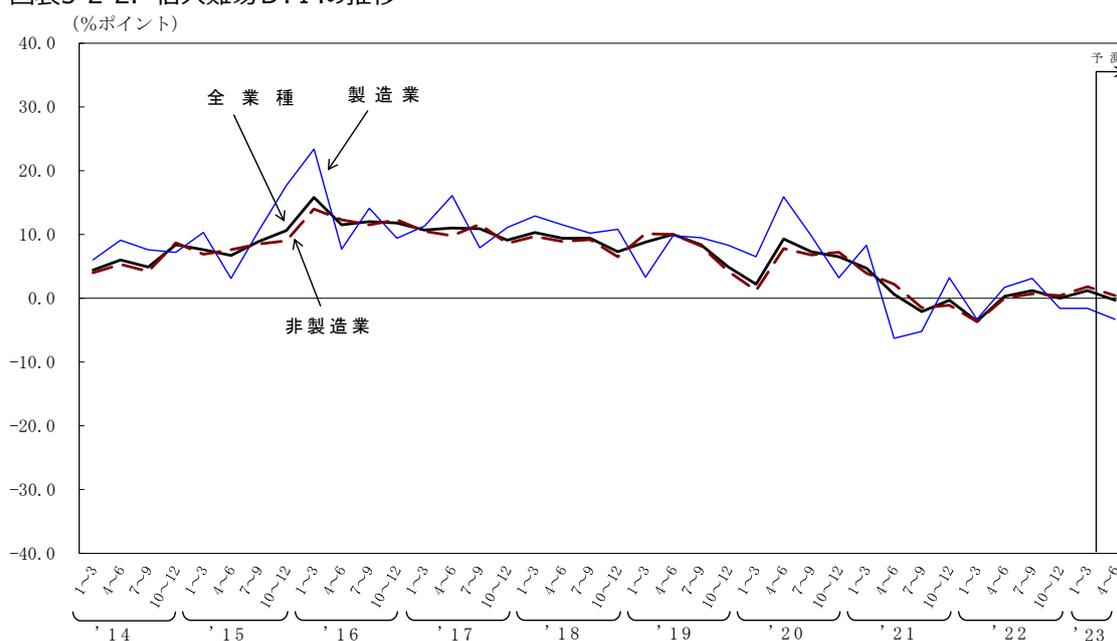
図表5-2-1. 借入難易D.I.

参考: 借入難易D. I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年		2022年				2023年	
		10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 前回実績	1～3月期 前回見通し	今回実績	4～6月期 今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	△ 0.3	△ 3.6	0.3	1.2	0.0	(△1.2)	1.8	0.6
	① 容易(%)	5.1	3.3	4.9	4.8	4.5	(4.2)	6.0	5.1
	不変(%)	89.6	89.8	90.5	91.6	90.9	(90.3)	89.8	90.4
	② 困難(%)	5.4	6.9	4.6	3.6	4.5	(5.5)	4.2	4.5
製造業		3.2	△ 3.3	1.7	3.1	△ 1.6	(△4.9)	△ 1.6	△ 3.3
建設業		0.0	△ 1.6	3.3	△ 1.6	1.6	(0.0)	6.3	3.1
卸売業		2.3	4.5	0.0	6.5	6.5	(6.5)	0.0	0.0
小売業		△ 5.0	△ 7.7	0.0	4.9	0.0	(△2.5)	5.1	2.6
運輸業		△ 2.9	0.0	6.1	3.2	△ 3.2	(0.0)	0.0	0.0
情報通信業		4.8	0.0	△ 4.8	0.0	5.3	(5.3)	0.0	0.0
サービス業		0.0	△ 7.0	△ 2.4	0.0	△ 2.6	(△5.1)	2.4	2.4
飲食店・宿泊業		△ 6.7	△ 15.6	△ 6.9	△ 11.1	△ 7.4	(△7.4)	0.0	0.0

図表5-2-2. 借入難易D. I. の推移



Ⅲ. 参考

参考 1. 販売数量（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「増加」超幅がほぼ横這い、来期は「増加」超幅がやや拡大の見通し —

(1)〔2023年1～3月期実績〕

当期の販売数量D. I. は11.0と「増加」超幅がほぼ横這いとなった。
業種別にみると、製造業で「減少」超幅が拡大、小売業で「増加」超幅が大幅に縮小したものの、卸売業で「増加」超幅が大幅に拡大となった。

(2)〔2023年4～6月期見通し〕

来期の販売数量D. I. は14.5と、「増加」超幅がやや拡大の見通しとなっている。
業種別にみると、小売業で「増加」超幅が拡大、製造業で「減少」超幅がやや縮小、卸売業で「増加」超幅が横這いの見通しとなっている。

表1. 販売数量D.I.

参考:販売数量D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合) (単位: %ポイント)

業種	区分	2021年		2022年				2023年		
		10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 前回実績	1～3月期		4～6月期 今回見通し	
							前回見通し	今回実績		
全産業	D. I. (①—②)	△ 30.3	△ 26.6	1.4	12.6	10.2	(15.0)	11.0	14.5	
	① 増加(%)	21.4	21.7	36.4	41.1	44.2	(38.8)	44.1	40.0	
	不変(%)	26.9	30.1	28.6	29.8	21.8	(37.4)	22.8	34.5	
	② 減少(%)	51.7	48.3	35.0	28.5	34.0	(23.8)	33.1	25.5	
	製造業	△ 37.1	△ 30.0	6.7	△ 3.1	△ 8.2	(△1.6)	△ 14.8	△ 9.8	
	卸売業	△ 34.9	△ 27.3	△ 14.6	17.4	6.5	(13.0)	28.9	28.9	
	小売業	△ 15.0	△ 20.5	10.3	31.7	42.5	(42.5)	30.8	35.9	

参考 2. 販売価格（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「上昇」超幅が拡大し過去最高水準、

来期は「上昇」超幅がやや縮小の見通し —

(1)〔2023年1～3月期実績〕

当期の販売価格D. I. は76.6と、「上昇」超幅が拡大となった。
業種別にみると、卸売業、小売業で「上昇」超幅が大幅に拡大、製造業で「上昇」超幅がやや拡大となった。

(2)〔2023年4～6月期見通し〕

来期の販売価格D. I. は72.4と、「上昇」超幅がやや縮小の見通しとなっている。
業種別にみると、製造業で「上昇」超幅が縮小、卸売業、小売業で「上昇」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

表2. 販売価格D.I.

参考:販売価格D. I. (前年同期比、「上昇」-「下降」企業割合) (単位: %ポイント)

業種	区分	2021年		2022年				2023年		
		10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 前回実績	1～3月期		4～6月期 今回見通し	
							前回見通し	今回実績		
全産業	D. I. (①—②)	26.2	39.9	60.0	70.9	67.3	(66.7)	76.6	72.4	
	① 上昇(%)	31.0	44.1	60.7	72.8	70.7	(69.4)	79.3	76.6	
	不変(%)	64.1	51.7	38.6	24.5	25.9	(27.9)	17.9	19.3	
	② 下降(%)	4.8	4.2	0.7	2.0	3.4	(2.7)	2.8	4.1	
	製造業	19.4	35.0	53.3	67.2	67.2	(62.3)	72.1	65.6	
	卸売業	44.2	52.3	63.4	71.7	67.4	(73.9)	80.0	77.8	
	小売業	17.5	33.3	66.7	75.6	67.5	(65.0)	79.5	76.9	

参考3. 在庫水準（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 「保合い」から「過剰」超となる —

〔2023年3月期末〕

在庫水準D. I. は△2.1と、前期末と比べて「保合い」から「過剰」超となった。
業種別にみると、製造業で「保合い」となるものの、小売業で「不足」超幅が縮小、
卸売業で「過剰」超幅がほぼ横這いとなった。

表3. 在庫水準D.I.

参考：在庫水準D. I.（当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合）

（単位：％ポイント）

業種	区分	2021年	2022年				2023年
		12月期末	3月期末	6月期末	9月期末	12月期末	3月期末
全産業	D. I. (①—②)	△ 8.3	△ 9.8	△ 2.9	△ 5.3	0.0	△ 2.1
	① 不足(%)	7.6	4.2	6.4	7.3	10.2	6.9
	適正(%)	76.6	81.8	84.3	79.5	79.6	84.1
	② 過剰(%)	15.9	14.0	9.3	12.6	10.2	9.0
	製造業	△ 11.3	△ 10.0	△ 3.3	△ 1.6	0.0	0.0
卸売業	△ 2.3	△ 11.4	2.4	△ 13.0	△ 10.9	△ 11.1	
小売業	△ 10.0	△ 7.7	△ 7.7	△ 2.4	12.5	5.1	

参考 4. 雇用判断

－ 当期は「不足」超幅がやや拡大、来期は「不足」超幅がやや縮小の見通し －

(1) [2023年1～3月期実績]

当期の雇用判断D. I. は51.8と、「不足」超幅がやや拡大となった。

業種別にみると、情報通信業で「不足」超幅が大幅に縮小、小売業で「不足」超幅がやや縮小となったものの、卸売業で「不足」超幅が大幅に拡大、建設業で「不足」超幅が拡大、製造業、サービス業、飲食店・宿泊業で「不足」超幅がやや拡大、運輸業で「不足」超幅が横這いとなった。

(2) [2023年4～6月期見通し]

来期の雇用判断D. I. は49.7と、「不足」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、建設業、情報通信業で「不足」超幅がやや拡大、サービス業で「不足」超幅が横這いとなるものの、卸売業、小売業で「不足」超幅が縮小、運輸業、飲食店・宿泊業で「不足」超幅がやや縮小、製造業で「不足」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

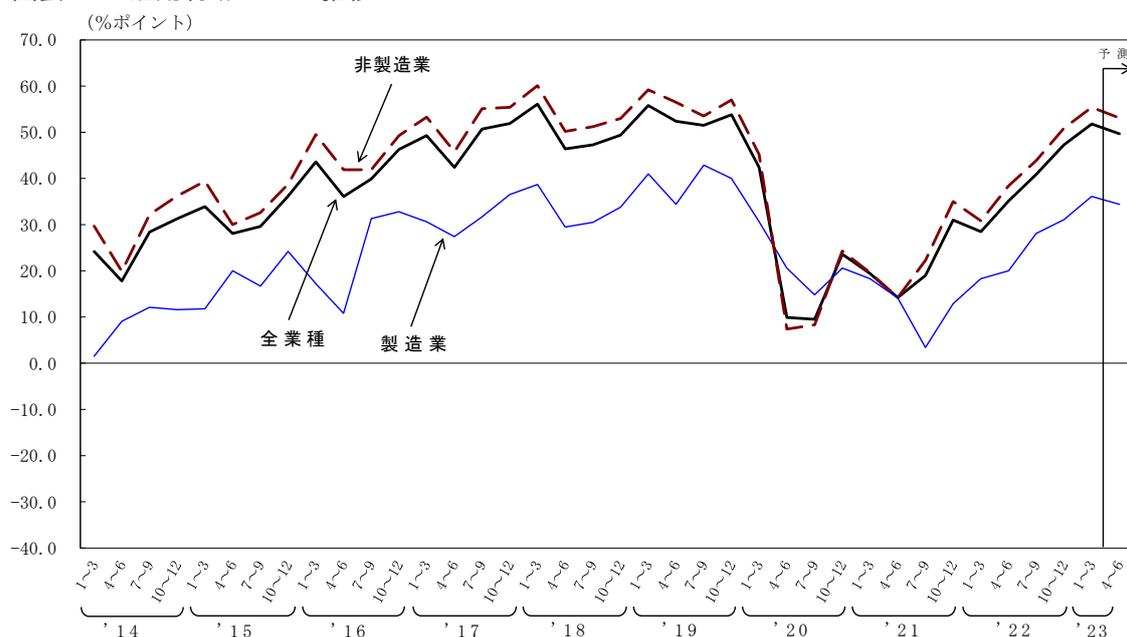
図表4-1. 雇用判断D.I.

参考:雇用判断D. I. (当該期、「不足」-「過剰」企業割合)

(単位: %ポイント)

区分	2021年		2022年				2023年		
	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 前回実績	1～3月期		4～6月期	
業種							前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D. I. (①-②)	31.0	28.5	35.1	40.9	47.3	(49.7)	51.8	49.7	
① 不足(%)	36.6	36.0	39.0	43.9	48.8	(50.3)	53.3	51.2	
適正(%)	57.7	56.5	57.0	53.1	49.7	(49.1)	45.2	47.3	
② 過剰(%)	5.7	7.5	4.0	3.0	1.5	(0.6)	1.5	1.5	
製造業	12.9	18.3	20.0	28.1	31.1	(26.2)	36.1	34.4	
建設業	46.8	47.5	39.3	42.6	51.6	(56.3)	60.9	64.1	
卸売業	27.9	25.0	36.6	39.1	30.4	(43.5)	48.9	40.0	
小売業	25.0	17.9	30.8	41.5	55.0	(55.0)	51.3	43.6	
運輸業	32.4	12.5	39.4	38.7	58.1	(54.8)	58.1	54.8	
情報通信業	33.3	40.0	23.8	33.3	31.6	(36.8)	14.3	19.0	
サービス業	34.1	37.2	46.3	53.7	59.0	(61.5)	63.4	63.4	
飲食店・宿泊業	40.0	25.0	48.3	59.3	77.8	(81.5)	81.5	77.8	

図表4-2. 雇用判断D. I. の推移



参考 5. 経営上の問題点

— 4期連続「原材料高」が最多となり、調査開始以来 最も高い割合 —

〔2023年1～3月期実績〕

当面の経営上の問題点としては、4期連続「原材料高」（図表5-1の表頭④24.5％）の割合が最も高く、続いて「求人難」（同⑩18.6％）、「利益の減少」（同③12.8％）の順となった。

業種別にみると、製造業、建設業、卸売業、小売業、運輸業、飲食店・宿泊業では「原材料高」の割合が、情報通信業では「売上の不振」の割合が、サービス業では「求人難」の割合が最も高かった。

図表5-1. 経営上の問題点(複数回答)

(単位：%)

区分 業種	① 売上の不振	② 製品安等	③ 利益の減少	④ 原材料高	⑤ 人件費の増加	⑥ 人件費以外経費の増加	⑦ 代金回収難	⑧ 借入難	⑨ 余剰人員	⑩ 求人難	⑪ 設備・店舗の狭小等	⑫ 事業承継	⑬ その他
全産業	12.1	0.8	12.8	24.5	11.7	9.1	0.5	0.5	0.1	18.6	6.7	0.9	1.6
製造業	11.5	1.2	13.9	35.2	5.5	12.7	0.6	0.0	0.6	10.9	7.3	0.0	0.6
建設業	14.8	0.6	16.0	23.5	9.3	6.2	0.6	0.6	0.0	20.4	4.3	1.2	2.5
卸売業	11.3	0.0	11.3	23.5	13.9	11.3	0.0	0.9	0.0	19.1	6.1	0.0	2.6
小売業	7.9	2.0	8.9	24.8	14.9	8.9	1.0	0.0	0.0	17.8	8.9	2.0	3.0
運輸業	12.2	0.0	13.5	20.3	14.9	5.4	0.0	0.0	0.0	18.9	9.5	2.7	2.7
情報通信業	26.9	0.0	25.0	13.5	7.7	7.7	1.9	0.0	0.0	13.5	3.8	0.0	0.0
サービス業	10.8	2.0	7.8	12.7	18.6	12.7	0.0	1.0	0.0	25.5	7.8	1.0	0.0
飲食店・宿泊業	6.6	0.0	7.9	30.3	13.2	5.3	0.0	1.3	0.0	27.6	5.3	1.3	1.3

図表5-2. 経営上の問題点 (複数回答)

